

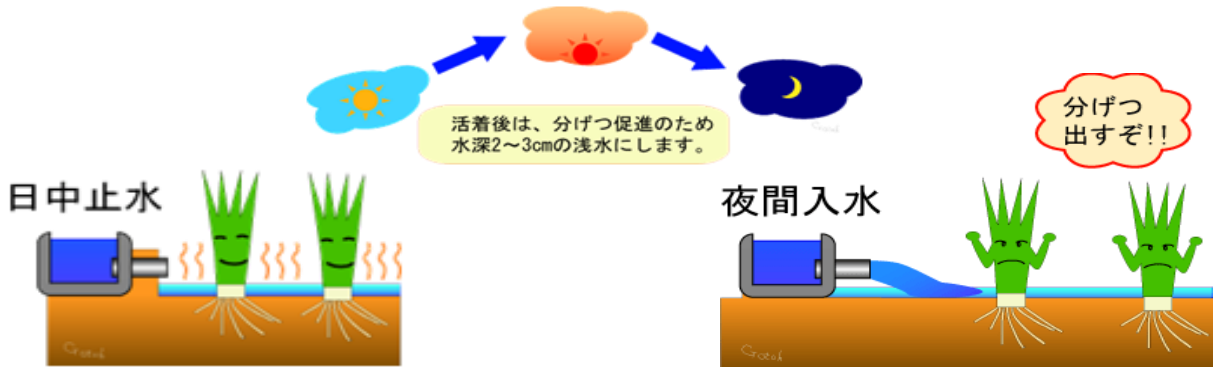
田んぼを見回り、きめ細やかな水管理を！

除草剤は遅れずに使用しましょう！

気象庁の1か月予報によれば、気温は平年並みから高く経過する見込みです。(5/25 発表)。一部の圃場では、すでに表層剥離の発生が確認されています。天気に応じたきめ細やかな水管理で、ワキや表層剥離を抑え、初期生育を確保しましょう。

天気やイネの生育状況にあわせた水管理

- 苗の活着後は、2～3 cmの浅水管理とし、**日中止水・夜間かんがい**で地水温にメリハリをつけ、分けつの発生を促します。
- 強い風が続く場合は、一時的に深水とし、イネを保護しましょう。



土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離は早めに対策

- 土壌の異常還元（ワキ）の発生は、イネの根を痛め、生育を停滞させます。また、表層剥離の発生は、地温の上昇と酸素の供給を妨げます。
- 晴天・高温が続く場合は、2～3日おきに水の入れ替えを行い、ワキや表層剥離の発生を抑制します。
- **ワキの兆候（水田に足を踏み込んだ時にわずかな気泡がみられる）がみられた場合は、速やかに水の入れ替えや夜間落水**を行いましょう。
- 雪若丸の安定生産には早期の莖数確保が必須です。きめ細やかな水管理で分けつを促進しましょう。

除草剤は遅れずに使用

- 高温が続くと雑草の発生、生育が早まります。除草剤の使用基準をよく確認し、**適切な使用時期の範囲内で早めの使用**を心掛けましょう。
- **除草剤の使用前には必ず水交換**を行い、使用後7日間は止め水とします。

補植用取置き苗は速やかに処分

- 補植用の取置き苗は、いもち病の伝染源となるとともに、時間が経過すると田んぼに根を張り除去しづらくなります。
- 補植作業は田植え後1週間以内に行い、**取置き苗は速やかに処分**しましょう。

春季農作業事故防止啓発運動 展開中！ トラクターなどの事故に要注意！
熱中症にも要注意。 こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった作業を心掛けましょう。